

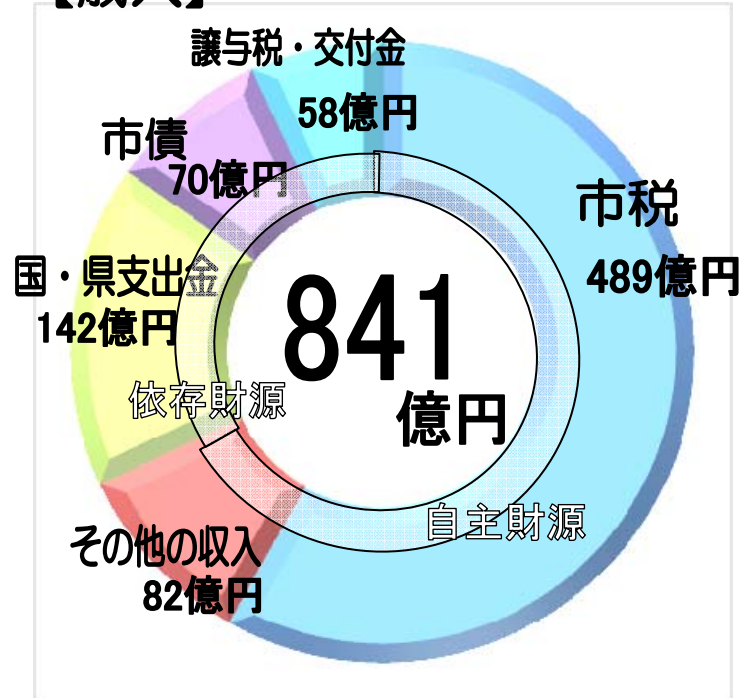
市の財政状況をお知らせします

市では、毎年6月と12月に市の財政状況を公表しています。今回は、平成20年度決算の状況についてお知らせします。

一般会計決算の状況

平成20年度一般会計は、歳入から歳出を差し引いた額が約57億円となり、そのうち定額給付金事業など平成21年度に使用することとなっている金額を除くと約15億円の黒字となりました。その要因としては、収入面では安定した税収入、財産売却収入の大幅な増加、支出面では建設事業の縮小、借金返済額の減少などが挙げられます。

【歳入】



安定した税収

市税収入額は前年度に比べ約8億円増加しました。これは、国税であった所得税の一部が市税である住民税に振替えられたこと、新增築家屋による固定資産税の増加などによるものです。

借金の縮小

市の借金である市債の借入は、前年度に比べ約9億円減少しました。公共工事費用の縮小に伴い借入額を抑制したものです。今後も計画的な資金調達に努めます。

不動産の処分

その他の収入としては、市の財産である不動産を処分したことなどにより財産収入が約25億円（昨年比23億円の増加）となりました。

貯金と借金

市の財政を家計に例えると、「基金残高」は貯金額に、「市債残高」は借金額にあたります。市では、より堅実な財政運営を図るため、平成19年度に策定した中期財政計画に基づき、基金の積み増し、市債残高の縮小に努めています。

基金残高 16億円

市債残高 24億円

不動産売却による収入を基金に積み立てしたため、財政調整基金は大幅に増加しました。しかし、財政規模の割合から見ると少ない状況が続いています。今後更なる積み増しが必要です。

借金の残高は、約24億円の減少となりました。借金が財政状況をこれ以上圧迫することがないように計画的な運用に努めます。

	基金残高 (単位:億円)		1人当たり基金残高 (単位:円)	
	19年度末	20年度末	19年度末	20年度末
財政調整基金	15.0	26.3	4,898	8,556
その他の基金	25.4	30.4	8,335	9,907
合計	40.4	56.7	13,233	18,464

	市債残高 (単位:億円)		1人当たり市債残高 (単位:円)	
	19年度末	20年度末	19年度末	20年度末
一般会計	840.5	836.2	275,361	272,436
公共下水道事業会計	588.6	578.2	192,823	188,396
病院事業会計	158.7	152.1	51,999	49,564
水道事業会計	57.6	55.0	18,857	17,906
その他の会計	25.0	25.2	8,204	8,191
合計	1,670.4	1,646.7	547,244	536,493

平成20年度特別会計・企業会計決算の状況

特別会計

特別会計とは、ある特定の目的・人を対象に実施する事業について、目的に沿った収支を明確にするため一般会計とは別に経理するものです。

事業名称	歳入	歳出
公共用地先行取得事業	3億1206万	3億1206万
国民健康保険事業	254億6773万	277億7260万
後期高齢者医療事業	22億7480万	22億3269万
老人保健医療事業	17億2332万	17億6273万
介護保険事業	123億4955万	120億3724万
介護サービス事業	1億7545万	1億7543万
民家防音事業	2388万	2388万
潮見坂平和公園事業	3億2619万	2億9145万
松河戸土地区画整理事業	8億4143万	7億9065万
勝川駅周辺総合整備事業	10億4076万	9億7023万
公共下水道事業	102億8973万	102億4775万

企業会計

企業会計とは、営利を目的とする事業について、一般的な企業に類する方法により経理するものです。

事業名称	区分	決算額
市民病院事業	収益的収入	123億7134万
	収益的支出	134億2902万
	資本的収入	4億2208万
	資本的支出	11億7881万
水道事業	収益的収入	50億7061万
	収益的支出	51億5755万
	資本的収入	4億789万
	資本的支出	10億9382万

収益的収支：経営活動全般に関する収支
資本的収支：施設の建設などに関する収支

社会保障費の拡大

市の支出の約3割を占める民生費は、社会保障に充てられる経費です。年々増加する医療費支出や高齢者・障がい者福祉経費、生活保護費に加え、子ども医療費の本人負担無料化の拡大や後期高齢者医療制度における市負担金などにより前年度に比べ約8億円の増加となりました。

公共事業の縮小

土木費は、神領駅自由通路の整備完了など大規模事業が一段落し、公共工事費用が大幅に減少したことにより前年度に比べ約47億円の減額となりました。

借金返済額の縮小

借金の返済である公債費は、約3億円の減少となりました。これは、昭和50年代に実施した大規模な都市整備事業に係る借入の返済が完了したことによるものです。

【歳出】

